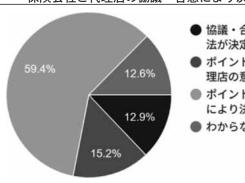
# 協議合意されている認識ないが約6割

2025年度実施 大阪代協

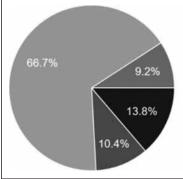
全会員アンケートを通じて 見えてきた「会員の思い」(中)

#### 図1-1. 代理店手数料の算出方法は、代理店委託契約書に基づき 保険会社と代理店の協議・合意により決定されているか(専属)



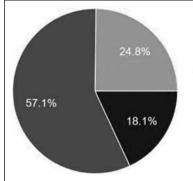
- 協議・合意にもとづいてポイント算出方 法が決定されていると思う
- ポイントの算出方法について一部分は代 理店の意見が反映していると感じる
- ポイントの算出方法について協議・合意 により決定されている認識はない
- わからない

#### 図1-2. 代理店手数料の算出方法は、代理店委託契約書に基づき 保険会社と代理店の協議・合意により決定されているか(乗合)



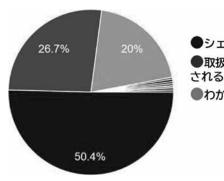
- 協議・合意にもとづいてポイント算出方 法が決定されていると思う
- ポイントの算出方法について一部分は代 理店の意見が反映していると感じる
- ポイントの算出方法について協議・合意 により決定されている認識はない
- わからない

#### 図 2-1. 専属ポイント・シェアポイントを廃止する動きについて(専属)



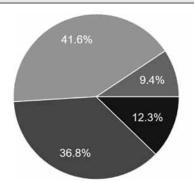
- 専属ポイントは代理店の品質に関係がな
- 専属は他社の商品を扱わないので優遇さ れても良いはずだ
- わからない

## 図2-2. 専属ポイント・シェアポイントを廃止する動きについて(乗合)



- ●シェアと品質には関係がなく当然だ
- ●取扱量が多い損保からはポイントで優遇 されるべき
- ●わからない

### 図3-1. 保険会社システムのお客さまの利用状況のについて(専属)



- 保険会社のシステム利用を促すのは代理 店の役目であり賛同できる
- 保険会社のシステム利用はお客様の自由 であり、品質評価指標にはなじまない
- 本来は保険会社が使いやすく、顧客がメ リットを感じられるシステム開発を行う べきであり、代理店を評価する指標とし て加えるのは間違っている
- わからない

## DATA

大阪代協(新谷香代子会長)はこのほど、全会員を対象に「全 会員アンケートを通じて見えてきた『会員の思い』一代理店業 務品質評価・金融庁監督指針を踏まえた代理店の意識と提言―\_ 調査(回答550件)を行い、10月1日にその結果を公表した。今 年度は、注目されている代理店業務品質評価の自己点検チェッ クへの取組み、代理店手数料ポイントや比較推奨販売、企業内 代理店等にフォーカスをあてて実施された。今回は、指針一部 改正の中から代理店手数料の算出方法、そして代理店手数料ポ イントへの質問に対する回答(一部抜粋)を紹介する。

理店手数料の算出方法)

多く

次いで「ポイント

とは異なる―表1 ・8%となり専属代理店

対し、乗合代理店は「ま

る回答が50・4%、

関係がなく当然だ」

だ規模・増収による評価

の回答が59・4%で最も

れている認識はない」と

されていると思う」

が 13

墨視していると感じる\_

(19・4%) であるのに

な監督指針一部改正

保険会社向けの総合的

偏だ

つ規

でいる。 増

「ると感じるの」増収による評価

のは乗合に合

多

1

属代理店が「業務品質を に最多だったが、次は専 は

遇され

ても良

vi

は

48 1 %

(38・3%) ととも

|| 図2-1。

埋店手数料の算出方法

指針改正案では、

の算出方法について一部

分は代理店の意見が反映

について、

『損害保険会

代理店手数料の算出方法

指針案改正案では、

ように受け止めますか? いる。 基づき、 保険代理店との間の協議 専属代理店では、 合意により決定されて 代理店委託契約書に 」と記載されてい この文章をどの 損害保険会社と されていると感じる」が

%で最多だが、 いて協議・合意により決 定されている認識はな 「ポイント算出方法につ とする回答が66・7 乗合代理店は 次いで 社による評価項目として

ポイント算出方法が決定

ようとする姿勢を感じ

記載されています。この ることなく、「業務品質 考えですか? を重視しているか。 「規模・増収」に偏

動きについては、 のように思われますか? は他社の商品を扱わない

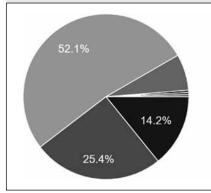
があります。この点をど ポイントを廃止する動き 代理店手数料ポイント 30・8%)と異なった。 専属ポイント・シェア

に偏っていると感じる」 %となった―図2-2。 の回答率を指標に取り入 き」とする意見が26・7 る意見が専属代理店 れる動きに対しては「方 イントで優遇されるべ 万法に課題がある」とす 性は理解できるが実施 また、顧客アンケート 63

代理店を評価する指標として加えるのは間違っている」との回答が専属代理店(41・6%)、乗合代理店(52・1%)とともに多く、「保険会社システムの利用はお客様の自由であり、品質評価指標にはなじまない」とする回答なじまない」とする回答なじまない」とする回答なじまない」とする回答なじまない」とする回答なじまない」とする回答が、最高代理店25・4%)を加え 開発を行うべきであり トを感じられるシステ

ると、「シェアと品質には る乗合代理店の回答をみ ずだ」とするのが57・1 ェアポイント廃止に対す 量が多い損保からはポ お客様の利用状況を評 2 の点をどのように思わ いやすく、顧客がメリ ますか? する動きがあります。 「本来は保険会社が 保険会社システム ッ使

図3-2. 保険会社システムのお客さまの利用状況のについて (乗合)



- ●保険会社のシステム利用は代理店として 協力すべきであり賛同できる
- ●保険会社システムの利用はお客様の自由 であり、品質評価にはなじまない
- ●本来は保険会社が、使いやすく、顧客が メリットを感じられるシステム開発を行う べきであり、代理店を評価する指標として 加えるのは間違っている
- ●わからない

ず との回答が専属代理 ので優遇されても良いは

ると、専属代理店、 、乗合代 るのは 17 1%